

公表:令和 2年 12月 1日

事業所名 てとり

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切であるか		○		パーティションやクーリングスペースを 設置し個別対応が出来る空間を設け ている。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○			個別対応が必要な利用児に対しては 職員数を増やしている。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配 慮が適切になされているか		○			バリアフリー化はされていない がトイレや階段等、手すりの設 置など必要設備を整えた。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設 定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		全員が同じ出勤時間ではないため、連 絡媒体を利用し情報共有に努めてい る。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把握 し、業務改善につなげているか	○				
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホー ムページ等で公開しているか	○				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか			○	第三者による外部評価は行っていな いが二事業所間やエリアマネージャー と連携を取りながら評価を行い助言を もらっている。	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか	○			社内職員研修の他、外部で実施され ている研修会にも積極的に参加してい る。	
適切な支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後 等デイサービス計画を作成しているか	○				
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用しているか	○			①基本的な生活習慣②身体機能③言 語、認知④社会性⑤心理、情緒 領域 に分かれたツールを用い、多面的にア セスメントしている。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫してい るか	○				
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細 やかに設定して支援しているか	○			毎朝出勤している職員で1日の療育計 画を立てている。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を 作成しているか	○				
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その 日行われる支援の内容や役割分担について確 認しているか	○				

	⑩	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			記録を書きながらその日の振り返りを行っている。	
	⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			怪我、要望、インシデント、アクシデントも含めて記録している。	
	⑫	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
	⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	⑮	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校公開日等の際は積極的に足を運び学校職員と顔の見える関係になれるよう努めている。	
	⑯	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			現在は医療的ケアの必要な利用児はいないが過去に在籍していた時は保護者を通じて情報共有を図っていた。
	⑰	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○		保護者を通じて幼稚園や保育園での育ちを尋ねたりする工夫はしている。
	⑱	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○		他の福祉サービス事業所等へ移行する場面をこれまでに持っていないが、移行する際は個別支援計画書をファイリングしたものを保護者に渡す予定でいる。
	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				新型コロナウイルスの影響により、研修が開催されることが減ったが案内があれば参加することに努めている。
	⑳	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○				児童クラブや児童館との交流は無いが、地域の公園で遊びに参加したいことを申し出た場合は共に遊び、交流できるようにしている。
	㉑	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○				子ども部会に参加している職員を中心にその場で得られた知見等を共有している。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				共通理解を図るため、連絡ノートや手紙等で状況を伝えている。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○				臨床心理士、公認心理士によるカウンセリングを通して保護者自身の葛藤や育児ストレスを低減できるような支援をしている。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○			新型コロナウイルスの影響を受けて保護者会の開催ができない状況である。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				エリアマネージャーからの助言や、福祉サービス相談センターからの解決指導を受けることで適切な対応をとれるような工夫をしている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				月に一度、とり通信を発行するとともに、行事予定表を各家庭に配布している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○				
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				連絡ノートや保護者宛てに手紙を出し視覚的に残る工夫をしている。
非常時等の対応	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○			招待はしていないが、高齢者施設の行事等に参加したり地域での公園遊びの際に、公園利用者が遊びたいと申し出た際は一緒に遊べるようにすることで開かれた事業所運営を心掛けている。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				職員研修を通し知識等、共通理解を図っている。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				自傷や他害の恐れがある利用児には身体拘束という言葉は使わず「タイムアウトができるように職員と抱っこやスキンシップを図りながら別室へ促す」などと記載している。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。